

県教育支援センター（SCHOOL“S”）と市町教育支援センター等との連携体制の構築について

～ 学びにアクセスできない児童生徒ゼロを目指す ～

市町の取組と成果

市町教育支援センターの相互の交流

- 県教育支援センター（SCHOOL“S”）の視察
- 市町の教育支援センター同士で交流の機会を設定



児童生徒のニーズに応じた支援の一層の充実に向けて、各所での取組や運営・支援方針等について交流しました。



支援プログラムの実施

- 市町教育委員会が主催する施設外イベント
- 児童生徒が企画したお楽しみ会
- 地元企業と連携したイベント



オンラインを活用して、プログラム開発の交流会を実施しています。



保護者会の実施

- 定期的に保護者会を実施している市町もあります。

他の市町教育支援センターの話を参考に、今年度から保護者会を開催しました。

保護者が日頃不安に感じていることや児童生徒の来室時の様子を語り合う場になっています。



令和7年度の取組（重点）

- 連絡会議の開催（年2回）
- SCHOOL“S”オンライン配信の共有
- 環境整備へのサポート（教室環境）

- 訪問による支援



学びプログラムの充実



・ 児童生徒への関わりの在り方・考え方の普及



保護者支援

- 見学会の開催

など

保護者支援の在り方を考えるとともに保護者同士、保護者と支援者とのつながりの場の創出に関してサポートします。

オンラインプログラムの利用

- SCHOOL“S”チャンネルを視聴
- オンライン学びプログラムを視聴



サポート計画の作成

- 県教育委員会の事業を活用し、県の指導主事が教育支援センターで研修を実施
- アセスメントに基づく児童生徒理解
- サポート計画の作成

支援者間でサポート計画を見直し、日々の児童生徒への支援に生かしています。



オンライン学びプログラムに参加した、市町教育支援センターの児童生徒は延べ約200人！